

美しく、あたたかく、やさしく、気品ある音色に魅了されました！！「サロンオーケストラエイト」in 遺愛

6月19日（月）13:30より遺愛アリーナで、チェロの白佐武史さん率いる『サロンオーケストラエイト』の演奏会が、遺愛女子中学生・高校生対象に、芸術鑑賞教室として行われました。

NHK交響楽団に属するヴァイオリンの村尾隆人さんとヴィオラの中村洋乃理さん。「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」のメンバーの芹田碧さん。日本フィルハーモニー交響楽団首席コントラバス奏者で函館出身の高山智仁さん。イタリアのA. サリエリ国際コンクールでピアノ部門第1位そして総合グランプリを受賞の経験もあるピアノの阿久澤政行さん。森町在住で国立音楽大学首席で卒業し今年の夏から東京フィルハーモニー交響楽団に加わるクラリネットの鳥潟さくらさん。（現在は遺愛吹奏楽局の指導にも来てくれています。）函館市出身で、2015年からフランスのパリ・エコール・ノルマル音楽院で研鑽、2018年から5年間、遺愛吹奏楽局の副顧問をして下さったフルートの佐々木花菜さん。そしてルーマニア国際音楽コンクール・ザルツブルグ＝モーツァルト国際室内楽コンクールなどで入賞経験があり、『サロンオーケストラエイト』を主宰する釧路出身の白佐武史さん8人が奏でる美しく、あたたかく、やさしく、気品のある音色に、生徒も教職員もすっかり魅了されました。

バーンスタインの『キャンディード序曲』をオープニングにして、8人それぞれの楽器の紹介、指揮講習会をまじえながら、『カルメン組曲』『口笛吹きと犬』『フィドル・ファドル』などの曲を演奏して下さい、あっという間の90分間でした。アンコールとして遺愛の校歌（ジョゼッペ・コンコーネ作曲）を演奏して下さい、遺愛の中高生も共に歌いました。いつもはピアノの伴奏とともに歌われる校歌が全く違う歌に聴こえてきたのがとても不思議でした。



夜の講堂のコンサートにも、たくさんのお客さんが見えられ、とても素敵な演奏会になりました。遺愛の吹奏楽局との合同演奏もあり、最後は『函館賛歌』（指揮・高久健一先生）で締められました。築88年木造の講堂（国の登録有形文化財）では8人のオーケストラの良さがとても引き出されているような気がしました。

築115年木造本館校舎（国の重文）の改修工事が終了（今年の12月）すると、2階の小ホールで奏でられる弦の調べがとても楽しみです。その際には、ぜひ再び『サロンオーケストラエイト』にお越しいただきたいと願っています。

2023年6月20日